

# 八百鮮

## 事業概要

### 1. 人に感動を与える八百屋「八百鮮」

- ・野菜・鮮魚を取り扱う商店街内に店舗を構える専門店。
- ・「人に感動を与える」をテーマに、コミュニケーションを重視した対面販売を実施。
- ・1店舗で一日の売上が130万円を上回る日もある商店街内の目玉店舗。



### 2. スーパーマーケットとの差別化を図る経営戦略

◎商品を完売することで毎日鮮度の高い商品を提供

- ・夕方に近づくと、販売価格を下げて、お得感を出して商品を完売し、回転率を上げることで、翌朝に鮮度の高い商品を提供。
- ・お得感のある商品を求める顧客ニーズと鮮度の高い商品を求める顧客ニーズの両方を満たすことが可能。

◎徹底したコストカットへのこだわり

- ・商品を完売することで、保存用の冷蔵庫や冷凍ケースなどの固定費がかかる設備が不要。また、チラシも作成したことがなく、広告費を削減。
- ・コストをカットした分、商品価格を安くすることで、よい商品を安く提供することが可能。顧客満足度の上昇につながり、リピーターが増加。

### 3. 若者が生き生きと働く店作り

- ・若い人材を積極的に正社員雇用し、仕入・販売担当といった責任のある地位に就任させることで、社員のやる気向上に繋げる。
- ・衰退する商店街・市場で若者が生き生きと働くことで、商店街の賑わいを創出。また、市場を通して農業・漁業といった一次産業の活性化を図る。

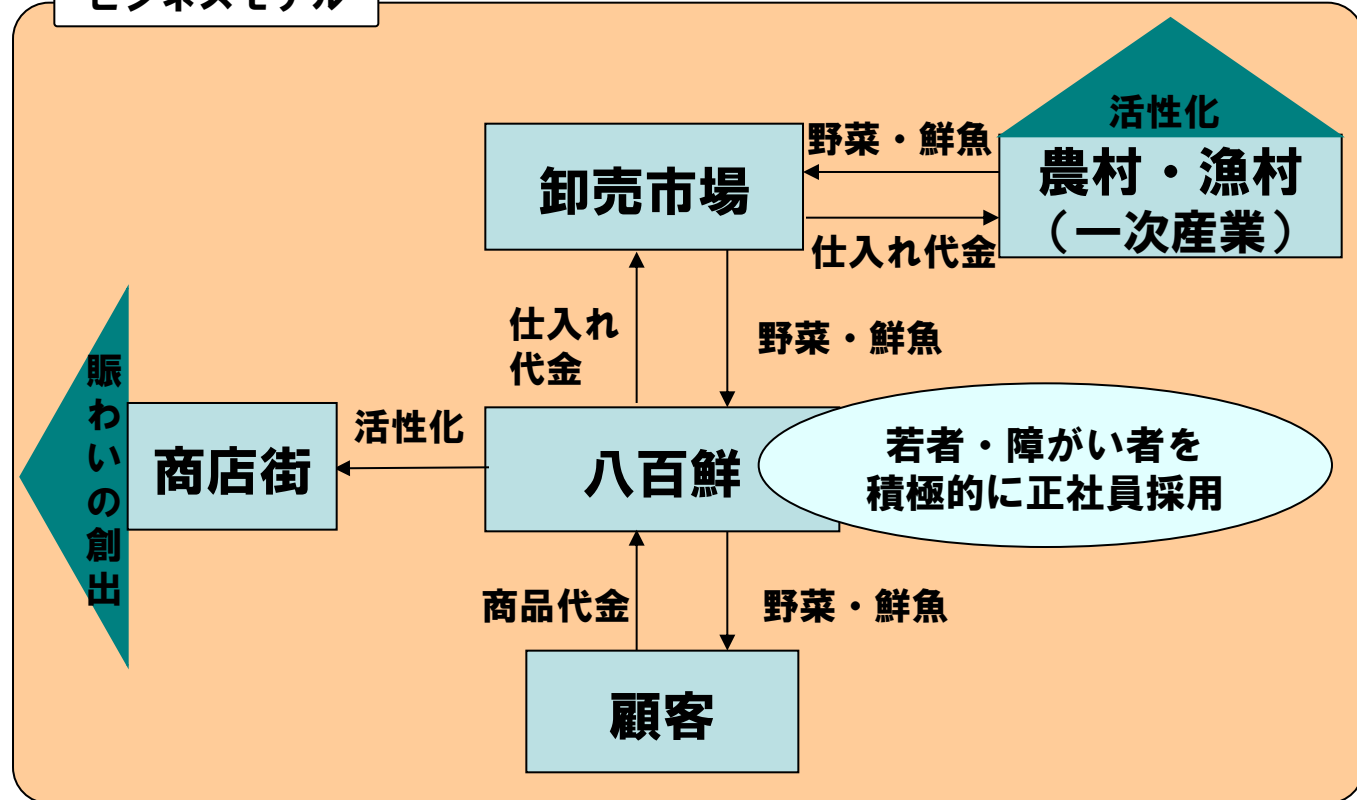
### 4. 障がい者が働ける店作り

- ・野菜の袋詰めや商品の陳列といった単純作業の側面と接客対応を中心としたサービス業の側面の二つを使い分け、障がい者の特性に応じた仕事を与え、障がい者の雇用を創出。
- ・障がい者も健常者と同じように働き、同様の待遇を受ける職場を実現。

## 事業成果

- ・平成22年12月に野田新橋筋商店街内にて創業。
- ・平成24年3月に此花店開設。
- ・平成26年4月に九条店開設。
- ・平成27年11月に名古屋川原通店を開設。
- ・平成27年度の年商は約6億2千万。
- ・平成28年6月時点で、大阪府3店舗、名古屋1店舗で約50人の雇用を創出。

## ビジネスモデル



## 事業の特徴・ポイント

- ・スーパーマーケットとの差別化を図る経営戦略で、高い顧客満足を得る。
- ・若者や障がい者が生き生きと働ける環境づくり。
- ・商店街の賑わい創出・一次産業の活性化を図る。

◎八百鮮の取組については、<http://yao-sen.co.jp/index.html>

## 産業経済研究員からの一言

代表者は、大学時代にNPO法人「経営パラリンピック委員会」を設立し、経営の観点から障がい者の経済的自立について考え続け、社会人として就職した食品スーパーでの経験を活かし、福祉と経営の両立が可能であることを証明している。同社の目的の一つである「ビジネス+社会貢献=新しい価値観」は、起業の原点である、障がい者の経済的自立を実現するという利他の発想が、地域の住民に、新鮮で美味しい野菜・鮮魚・精肉を自信をもって提供するという商売に対するこだわり結び付き、障がい者を含む多様な若者の仕事に対するモチベーションも高めている。豊富な品揃えと清潔で活気溢れる店舗は、商店街とその周辺地域にも活気をもたらし、システム化された商売とは対極的に、人間の関係性を重視した仕事が、社会から高く評価されることがうかがえる。